

「核酸アナログ投与中のB型肝炎症例における HBV関連マーカーと発癌率の関連に関する研究」

1. 研究の対象

20歳以上で核酸アナログ治療を1年以上継続しているB型慢性肝炎症例を対象とする

2. 研究目的・方法

「目的」：核酸アナログ投与中のB型肝炎症例におけるHBV関連マーカーと発癌率の関連について検討するため

「方法」：核酸アナログ治療を行ったB型肝炎症例における核酸アナログ治療後の発癌症例と非発癌症例それぞれについて、核酸アナログ治療後のHBV関連マーカーの変動と肝発癌の関連を前向き後向きに検討する

「研究期間」：2017年08月08日～2023年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液

情報：年齢・性別・既往症・合併症、感染経路、飲酒歴、抗ウイルス療法の既往・

核酸アナログ治療開始時 血液データ、画像データ

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

データセンター：大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科

5. 研究組織

大阪大学大学院医学研究科 消化器内科学 教授 竹原徹郎（研究代表者）

市立伊丹病院 消化器内科 今中和穂

市立東大阪医療センター 消化器内科 部長 松本仁

大手前病院 消化器内科 部長 土井喜宣

住友病院 消化器内科 部長 山田晃

市立西宮中央病院 内科 部長 小川弘之

国立病院機構大阪医療センター 消化器科 部長 三田英治

大阪警察病院 副院長 尾下正秀

第二大阪警察病院 消化器内科 尾下正秀

関西ろうさい病院 副院長 萩原秀紀

JCHO大阪病院 院長補佐・部長 伊藤敏文

市立貝塚病院 副院長 山田幸則

八尾市立病院 副院長 福井弘幸

市立吹田市民病院 内科 部長 吉田雄一
市立芦屋病院 副病院長 竹田晃
済生会千里病院 副院長 鈴木都男
兵庫県立西宮病院 内科 部長 飯尾禎元
国立病院機構大阪南医療センター 副院長 肱岡泰三
市立豊中病院 消化器内科 部長 稲田正己
大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 大川和良
市立箕面病院 総長 田村信司
大阪労災病院 副院長 平松直樹
大阪急性期・総合医療センター 消化器内科 薬師神崇行
公立学校共済組合 近畿中央病院 医長 山本光成
市立池田病院 院長 今井康陽

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56
大阪急性期・総合医療センター消化器内科
電話 06-6692-1201

研究責任者:消化器内科 主任部長 薬師神 崇行

研究代表者：大阪大学大学院医学研究科消化器内科学教授 竹原徹郎

研究事務局：大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科